

住民からの質問・意見	事務局答弁
<p>住民 説明会等があつて、住民の方々の意見の中で中学校を新築してほしいという意見が今回取り入れられたということだと思ふのですけれども、教室の数とか、体育館とかプールといった設備のことがあつたと思ふのですが、具体的な計画というものは出来上がつていふのでしょうか。</p>	<p>事務局 中学校の新築ということで、その具体的な詳細な規模についてはまだ決定していません。ただ、現在の人数が多分最高的人数になると思ふます。それ今の状態から行くと2クラス。全部で6クラス規模の大きさになると思ふます。あとはプール等についても相当古い状況ですので、新築するか、あるいはB&amp;Gのプールを使用するようにしていくのかという検討も今後必要だと思ふます。</p>
<p>住民 今回の報告会の中で確認した方向性、中学校の新築ということで施設一体型の小中一貫教育の設備を充実させるとあるのですけれども、ここでいう施設の充実というものは何を確認したものであつたか。</p>	<p>事務局 空調部分だとか、ICT部分、その部分の実際の建設にあつて保護者の皆様がどういふような施設設備が必要かということも出てきますので、その辺を今後のハード面における検討委員会のほうで色々議論しながら、検討していくという考えでございふます。</p>
<p>住民 平成31年の6月に校舎建築第1次申請とありますが、今回中学校も建てることということも、旧校舎をどうするのあ、旧校舎を残した状態でどこか別のところに新築をして、その後取り壊すとか検討されていふと思ふますけれども、それも計画はされていふのですか。</p>	<p>事務局 敷地場所については九戸中学校としていふますけれども、どの場所がいかについては今後検討をいたします。旧校舎においても体育館等についてはまだ使いたい所もあると思ふますし、校舎については撤去した方がいふのかなといういふ考えもあつたます。その辺についても早期に検討を重ねて方向性を出したいと思ふてあつたます。</p>
<p>住民 スクールバスのことが結構言われていふと思ふます。道路の幅とか、小中一緒になることによつて保護者の方が集まる時の駐車場の確保ということもあると思ふのですけれども、そういうものについては中学校に新築することに対してそういう検討はなされていふのでしょうか。</p>	<p>事務局 スクールバスの安全管理ということから、確かに道路が狭いという意見は沢山いただいふてあつたます。そのアクセス道路についても幅が必要とは考へてあつたます。用地の新たなる確保が必要なのか、あるいは実際人数が減つていく段階で今の状況で間に合ふのか、その辺についても分析が必要と考へてあつたます。</p>
<p>住民 九戸中学校に新築するにあつて、これらが検討されていふないということはどういふことなのか、伊保内の東側については色々検討してみせていただいふたわけなのあ、実際これは検討をどのよつに辿つたものであつたのでしょうか。</p>	<p>事務局 望ましい教育環境あり方検討委員会等でその他の場所についてもお話が出ました。その中で特に先程もお話ししてあつたますけれども、まず34年度に確実に開校できるであつたろうという部分については、九戸中学校の敷地が一番だつたということも大きいです。</p>

<p>住民</p> <p>住民の方の意見を取り入れて中学校を新築すると今回大きく計画を変更してのことで大変色々検討されたのだと思うのですが、新築するということは当然当初考えていなかった費用面が出てくると、今回その校舎についても色々と説明をいただいております。変わった部分ではいくら費用がプラスされるのかということが報告会でされないものでしょうか。伊保内の東側は10億かかる、この10億というものはどのような具体的な検討の中で数字が出たのか。そういった説明というものをいただければ、我々も今後のところで納得できるのだとか、あるいはこういったものもあるのではないかなという住民サイドのアイデアとかというのもあると思いますので、ご検討いただければと思います。</p>	<p>事務局</p> <p>伊保内小学校東側の10億ということでございますけれども、まず土地の取得です。教育委員会では2路線、バスが入ってくる路線を考えました。1路線は伊保内小学校の脇に入っていき、そしてもう1路線は農協の脇の道路、を入れていくという路線でございます。そして、土地の面積、大体5町歩、過去に建設課で取得した時の単価を参考に1億5千400万です。そして、あとはルートA、Bとありますけれども、バスの路線にかかるルートが1千285万です。土地代です。これは道路を新しく通す分です。もう一方のルートが1千190万です。そして、その5町歩を造成ということで、造成費用が6億8千700万。あとはその道路の建設費、先程土地代ということでしたが、建設費が1億8千700万、Aルート、Bルートごっちゃになっていますけれども、片方で1億8千700万です。道路と造成費で8億7千400万ということ。それに土地取得の費用が、1億5千400万で約10億ということですよ。</p>
<p>住民</p> <p>中学校の敷地に建てた時にどれぐらいの造成費がかかるとか、道路の拡張代、土地の取得代とかボールもそうですね、使えなくなったら新しくするかも知れないとか、様々起ってくると思うのですが、その試算はされていないのですかね。</p>	<p>事務局</p> <p>今の九戸中学校の状態にするまでの費用ということですよ。九戸中学校の敷地と同等にする為の費用ということですよ。今後先程の5ページのスケジュールを見ていただければわかるのですが、この計画案が、認められた暁に9月以降に具体的なその校舎だとか、整備委員会というものを立ち上げて、どのようにやるかというのを具体的に積み上げていくと思います。</p>
<p>住民</p> <p>生活圏にある場所に小学校を建てるというのは非常に自然なことだと私は思うのですが、どうして、早く、安くが一番重要になるのですか。</p>	<p>教育長</p> <p>現状の子どもたちのことを考えた時に、早期に今の環境のメリットの部分を活かしながらデメリットを解消してあげなければなりません。そうした場合に学校建築等を考えた時に平成34年度が10～12学級で学校をスタートすることができます。九戸中学校の場所については生活圏と、40年間という学校文化をつくった場所でもあります。子どもたちの今の状況を変えてやらなければならない、それが私たちの、教育委員会の努めであるし、何回も繰り返すように学習指導要領への対応ということもあります。</p>
<p>住民意見</p> <p>子どもの環境の整備が大事というお話の中身は結局のところ、複式学級や少人数で勉強しなければ</p>	<p>教育長</p> <p>今回の小学校再編5校を1校、そして九戸中学校1校となります。村内の小学校と中学校1校が更に</p>

<p>いけない子どもたちの環境を改善しなければならないということですか。</p>	<p>連携を深めていくためには小中一貫校の制度が一番良いだろうと、そして、学習指導要領の中身についても小学校と中学校、中学校と高等学校の学びの連続の接続というのが特に強調されております。今のこの機会に小学校と中学校を施設一体としながら、小中一貫制度の良さを活かしながら、そして小学校の良さ、中学校の良さ、そして小中の交流を深めながら縦の人間関係等をつくっていくという考え方で、小中一貫校を取り入れるということにしたものです。</p>
<p>住民</p> <p>他の自治体の小中統合学校も色々調べさせていただいた。各自治体が住民との対話懇話会というものを徹底的にやってお互いの意見をぶつけ合い、そして歩み寄ってある程度の計画性を見出した後に、検討委員会を立ち上げてそこから話し合いがされておりました。一連の説明会はたった1回でした。アンケート自体は保護者だけが対象であって、新校舎設立とか小中一貫とか、そこまでの話の内容のアンケートではありませんでした。住民との対話がほとんどされていない状態での、先に計画ありきでの検討委員会だったというふうに思っておりますし、議論は全然つくられていないと思います。そこが非常に残念でならないですし、たくさん議員の皆さんたちもアンケートをやって下さいと言った人もいましたし、住民の気持ちや意見というものを汲み取っていただけないまま、説明会、報告会まで来たということが非常に残念でなりません。</p>	
<p>住民</p> <p>率直なところ、34年にスタートというのが最優先にされる為に大事な検討というのが不十分すぎるかたちでいろんな意見をもっともっと広く集めるようなそういう考えで、この問題をみんなで考えるという機会を十分な時間をつくりながら、検討していくということを望みます。今の現状を1つの小学校にするということの意味をすごく本当にそれでいいのかというふうに考えてしまいます。</p> <p>今九戸の場合は5つの小学校があって、それをそれぞれ頑張って守ってきたという、私はすばらしい教育の方針だというふうにそこは強く評価をしてきました。今5つの小学校があって、九戸村には48人の先生がいます。学校の要になるのは先生で、そういう先生の体制をきちっと大事にして、それを活かしてこそ、将来を担う子どもたちのより良い教育環境をつくるという要になる部分ではないのかなと、そこを私の言葉で言えば、失うという捉え方をしてしまう、ちゃんと考えなければならないことではないのかなというのが私の想いです。岩手県では小学校が全部で324の学校があるそうです。その内、複式の学級で小学校が運営されているのが、ちょうど100あると聞いています。1/3が複式の学校でもちゃんとやっているということも知りました。</p>	<p>教育長</p> <p>34年度が今の子どもたちの現状を考えた子どものことについて中心になっているのがこの基本計画案であります。</p> <p>当然国・県の学級編制基準によりまして、教職員の配置が決まってまいります。特に少人数の場合には学級の人数によって決まります。人数がある程度の場合には人数が学級プラス何人かという県の配置もあります。先生方の温かい手を差しのべる先生の温もりも大事ではありますが、集団の中で子どもたちの切磋琢磨という部分と子どもたち同士の助け合いという部分、そちらも大事ではないかなとそういうふうに考えております。それぞれの地域の教育力を活かしてそして特色ある学校づくりを進めてきたものであると考えます。しかしながら、1学年1桁あるいは5人を割るような人数の中で子どもたちが学校行事等を出来るかどうかというと本当に課題が顕在化している部分があると思います。本村の現状を考えた場合にはやはり子どもたちの複式だけではなくて、小規模を解消してそして子どもたちが一定の集団の中で学習し、切磋琢磨しながら規範性なり、社会性を身につけていかなければならない。</p> <p>今後の人数の動向にもよりましてけれども学級編制替えをしながら、学級編制を通して新たな人間関</p>

<p>子どもたちの教育を支えていこうという地域力といいですか、そういうふうなものが感度をよくしてやられてきた、中でも九戸村はこういう小さな村でも5つの小学校をきちっと守ってきたというのが私は大事なことで、先生方をやっぱり要に置いた学校教育というのを最優先にする必要があるのではないかなと、そこをどのようにお考えになっているのかなというのを率直にお聞きしたいというのが1つです。</p>	<p>係を小学校の段階から経験をし、思春期の中での学級編制替えにも人間関係構築にも繋げていきたいものだなとそう思っております。そういう基本計画であります。</p>
<p>住民 私は合併をするということはありがたいことだと思っておりますが、ただお金だけの話をしているから、お金がかからないのは今のままが一番お金がかからない。お金がかかるのだったら、過疎指定をもらったら10億だと3億で済む話ではないですか。それは簡単に出来ないのですか。</p> <p>住民 何か喋れば期間がないというのは人を集めておいて失礼じゃないですか。もっと前からやるか、日にちをもっと延ばして出さなかったら変じゃないですか。何かと言えば時間がない。さっきの過疎債はだめなのですか。予算は。土地代金は地元負担だとしたら、7割補助でしょ、本当は。</p> <p>住民 残念です。もっと前から再編の話があればよかったです。実際は、でもありがたい話です。この大変なものを引き受けてやっていただいて。</p>	<p>村長 さっきの10億のお話は10億の中身を教えていただきたいとのことでしたので、そこを事務局でお知らせしたのだと思いますし、事務局ではお金だけではなくて時間も重要視していると思います。</p> <p>事務局 過疎債については、該当になります。ただ、過疎債については県の枠が決まっています。国でも過疎の枠を広げておりますけれども、それでもまだ要望する額に満たないという状況になります。そうすると過疎債以外の起債を借りることも検討しなければなりません。補助については、全額ではありません。普通であれば1/3、統合であれば1/2です。ですから満額ということはないです。どうしても村の負担は出てくることになります。</p> <p>教育長 今回の学習指導要領の改訂というのは今までの改定とは大きく変わって、子どもたちが集団の中で自分たちが持ってきた知識を積み上げていく、新しいものを作り上げていくという学習活動が多く取り上げられてきます。主体的、対話的、深い学びというふうなことで言われております。もう一つは平成34年度の開校時には、10～12学級の子どもたちでの小学校が出来ます。そして中学校が6学級で出来ます。その子どもたちがある程度の集団の中で人間関係をどんどんつくっていくというふうな環境を学ぶことが出来ます。そういう意味で34年度ということでお話申し上げております。</p>
<p>住民 統合を行う場合の検討体制の工夫というものがございまして、その中で地域コミュニティーの核としての性格を有する小中学校の統合の適地の判断</p>	<p>事務局 今の件につきまして、望ましい教育環境あり方検討委員会の際にもお話いただきました。教育委員会としてはまず、子どもたちの今の状況をいい環境に</p>

<p>は、行政が一方向的に進めるものではなく、関係者の理解と協力を得て行わなければならない。そのためには保護者や地域住民の危機意識や課題意識、将来ビジョンを共有するプロセスが重要となります。こういうふうなものがあるのですけれども、このことに関してはどうお考えでしょう。</p> <p>住民 私が聞きたいのは、学校というのは文科省の指針の中でも、そういったような地域づくりの核となる、街づくりの観点も含めた中で学校を考えるべきだと言っているわけです。それは無視してもう他のほうを優先するのだというお話でしょうか。</p>	<p>したいということがまず一番大前提でございます。現在早々に取組まなければならないと考えておりました。そしていかに子どもたちを地域に帰すか、あるいはどのようにこれまでやってきたことを伝承していくかということについても色々なご意見をいただいております。その事をソフト部分等で統合になったとしても、地域とのかかわりについては重要視していきたいと考えております。</p> <p>教育長 決して、今、無視という言葉が出てまいりましたが、決してそういうようなことは考えておりません。この検討委員会を立ち上げる際にも子どもたちの一番望ましい教育環境をどうするかということで、具体的な中身について諮問したところがあります。アンケートをとった結果、70パーセント以上の方が再編、1校に再編あるいは近隣との再編ということもありました。検討委員会を重ねた後、住民説明会、それから教育関係者との意見交換会、保護者との意見交換会をいただいて、意見をいただいたところでもあります。また、今後につきましては、計画推進については住民、保護者の意見を十分に把握させるようなかたちで、望ましい教育環境の整備委員会、先程ハード面についてお示ししましたけれども、今後についてはソフト面についても設置をして、住民の反映した基本計画の推進に向けて取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>住民 私たちは、1月26日に説明会で1回お話を聞きました。今回が2回目なのですけれども、ですから十分にそういう意見を言う場所、話し合いをする場所というのはいただいているわけで、多くの村民が多分そうだと思います。少し聞きながら、議論しあった結果でもいいのではないかというふうに私は思うわけなのですけれども、またその時の、質問の中で、私が質問した時に、あくまでも今回九戸中の場所でやるというのは計画の段階であるとか、他を検討する余地もあるというような回答をいただいて、十分今後そういった話し合いをする話をする場所がいっぱい出てくるのかなというふうに思っておったのですが、検討されたということですから半年の中での計画で進むというのは非常に残念だなというふうに思います。</p> <p>先程、私が小学校の東側のところということで提案させていただいたのですけれども、あの内容ですが、あまりにもぼふっとした感じで、よく見えないなということです。このことについては、10億と</p>	<p>教育長 今の〇〇さんのお話承りました。その図面等については後でお示しするようなかたちにしたいと思っております。</p>

<p>いうお話をされていましたが、これは広く村民の皆さんに、具体的な場所を示してどこの部分、校庭の部分とどこの部分でどのくらい期間がかかるのか、お金がどうなのかという事を村民の皆さんに示してほしいと思います。お願いできますでしょうか。今日来た人は聞きましたけれども、ただ私も十分これ以上は分からないなど。</p>	
<p>住民 一つお願いですけれども、1月～2月にかけて説明されたのが、5月の末に来ているわけですよね。その間にどんどんどんどん進んでしまっているような状況がありました。今日説明を聞いたのも、意見を出したのものについてもあまり時間を置かないで、出来ればお盆前には今の事も含めて出していただきたいというのをお願いしたいと思います。以上です。</p>	
<p>住民 学習指導要領が変わるから32年度に間に合わせたいというお話でした。小規模校のことなのですが、お隣の自治体では、統合を考えていないということです。全然そこが九戸村とは違うのですけれども、そこをどうして九戸村は急ぐのでしょうか。もう少し今の意見が色々出されています、それを取り入れてもうちょっと住民で議論してから進めてもよいのではないかなと思います。</p> <p>住民 5校ある時には、それぞれの交付税があります。それが1校になった時の数字も、教育委員会で出しましたよね。1年間で約5,000万違いますよね。よく村長は財政が厳しいからあれが出来ない、これが出来ないと。これが10年間続いたら5億も違って来るわけですよね。その辺も勘定に入れているのでしょうか。</p>	<p>教育長 学習指導要領の対応の部分と、今の小学校の小規模化が進んで学習集団としての質の部分と、それから学校行事等を進める場合にも課題が顕在化していること、一定の集団の中で、社会性、規範性等を見つけていかなければならないというような事を考えて、その場合には平成34年度を目指した再編1校ということで、提案しているところであります。</p> <p>村長 5,000万のために子どもの環境を犠牲には出来ないのではないかと考えております。今の子どもたちには、やはり教育長が話したように、十分子ども同士がお互いに研鑽しあうという環境を整えるためにもこの統合が必要なのではないかなと思って、進めているところです。</p>
<p>住民 近隣自治体のある学校では複式の否定は全然していませんでした。 私は疑問に思っております。親御さんにも早く進めてほしいという意見がありましたというのは、私たちの説明の中に出るのですけれども、私に届いている中では小規模校でもかまわないです、かえっていいです、というような声も聞いています。色々な意見がありますので、もう少し時間をかけて建設場所についてでも何でも色々出ていますので、もうすこし時間をかけてもらいたいというのが要望です。</p>	
<p>住民 1月からそれぞれの学区ごとに地域で説明会がありました。その時には皆さんのご意見を聞いて、これからの方向付けに参考にさせていただきますというふうなことだったのですが、どういう点を参考にして今回の計画案にその意見を盛り込んでいただけたのかということ、まず、一つお聞きした</p>	<p>教育長 先程3つの点については大きな村民の方々の要望と意見がありましたので、こちらの方で検討し、検討についても組織を通した検討をしたうえでの今日の結果の報告となっております。それ以外のいろんな部分での今後の学校再編した後のこととか、そういう部分についてはこれからの整備委員会等</p>

<p>いです。私は先程から出ている皆さんの意見でも、急がないでちゃんと議論をした中で決めてもらいたいという意見が結構あったはずなのです。わずか数ヶ月の間にこれくらい、こんなに進める理由が一体どこにあるのかという非常に疑問に思っています。村長さんは選挙の時に声なき声を聞きながら、行政に反映させますという所信表明で立候補されたわけですが、やはり私たちのような声なき声をやはり参考にさせていただきたいなと私は一番思っています。その点で、今回の説明会が開催されましたが、盛り込んでいただけたのか、盛り込まれなかった点はどのようなことだったかをお話しいただければなと思います。</p>	<p>で検討してまいります。ダイジェスト版の他にそれぞれの地区での住民説明会、保護者説明会での意見等についてと、そして、教育委員会議等での意見等を載せてありますので、その掲載をご覧いただき、その上でもしもこの部分どうであるでしょうかとありましたら、ご意見いただければありがたいと思います。</p>
<p><b>住民</b> 私が喋ったのは要するに急がないで皆さんと一緒に相談をしていただけませんか、今回で私も2回目なのです。もっと村民の皆さんに本当にどうあればいいのかということ議論させる場というのが必要だと思います。平成34年が到達点ということではないはずなのです。どうあれば九戸村型の教育のあり方、国で定める学習指導要領に全て従わなければならないというわけではないはずです。九戸は九戸なりの進め方というの模索してもいいのかなというふうに私は思っています。本当に子どもたちのための教育というのが、どうあればいいかということ年寄りも、中年層の人たち、今の保護者の方も当然大事なのですが、これからの人、私たちのような老人も一緒に携えてやっていきたいと思うので、その点を十分に把握して検討してもらいたいと思います。</p>	
<p><b>住民</b> あの土地もすごい粘土質でどろどろで2年くらい運動会も出来ないような土地でした。今度あそこに校舎を建てるという土地を掘ったり埋めたりしたらまた大変になると思うので、改めて補助をもらわないで中学校を建てるよりは、中学校の耐震が済んで補助をもらえるまで待つて、裏の土地を獲得して裏の方に立てたほうが良いと思います。マイクロバスがどこか広い所で子どもたちを降ろして歩かせた方がよいと思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p><b>事務局</b> 宇堂口地区はスクールバスで通っているわけですが、スクールバスに乗るまでにもう、20分30分歩いているのが現状です。家の前から乗っているわけではございませんので、そのような提案ですと家を何時に出たらいいのかという非常に学校でも支障が出ると考えております。</p>
<p><b>住民意見</b> ホームページにこれまでの説明会で質問があった内容とその質問に対する回答を掲載しているというお話で、ホームページを見る村民がどれだけいるのかという事もあります。実際私が九戸のホームページでこの回答を探すのに本当に3日くらいかかりました。複式の学級が既にあって、まず一度小学校を統合してから、その後小中一貫ということではできないのかという質問がありました。それに対しては、私もそれはできるのではないかなと思っているのですけれども、この機会に改めてお聞</p>	<p><b>教育長</b> 隣接の学校との統合というのは、長興寺小学校さんと山根小学校さんということだと思いますが、どこの学校との統合だというのはそれぞれの学校の保護者さんの想いもあるかと思いますが、そうした2年はかかると思います。教育課程等の編成を組む場合に、そうした場合には例えば平成31年度にやって平成32、33の統合ということが一番早い時期になるのではないかと、それぞれの学校の教育課程を活かしたかたちの統合を考えた時。そうしますと、34年度の我々の考えている小学校再編1校と</p>

<p>かせください。</p> <p>住民 例えば小学校5校を1校に先に統合するとしたとしても、これに2年要するということですか。</p> <p>住民 小中一貫の前に小学校5校を1校に統合というのは可能なのでしょうか。</p>	<p>の期間を考えていった場合には平成32年度がいい・・その間の平成32年度、33年度については交流学习を多くし、そしてそれぞれの学校の子どもたちが平成34年度にその集団としてもスムーズに学校生活がスタートできるようなかたちを進めて行きたいというふうなかたちをお出ししたところであります。</p> <p>教育長 両者の教育課程等々考えていった場合には、その分の期間を要すると思います。その場合でも32、33のところで、交流学习を進めて子どもたちがスムーズに新たな学習集団で新たな学校生活を進めるという、その準備期間等も含んでのお話でもあります。</p> <p>教育長 私たちのこの基本計画案ではそういう案については持ち合わせておりません。</p>
<p>住民 1年でも早く複式学級ではなくて、多い人数の中で勉強してもらいたい。そういう意見が、かなりありました。スケジュール、期間のこととか、全体でその早期再編についてとか、スケジュールについて質問意見されている人が31件ありました。数えました。これは本当に深刻な問題だと私も思いますし、本当に子どもたちとおっしゃるのであれば、まずこのことについて一番に検討すべきではないでしょうか。私も土淵の小中学校を視させていただいて、小中一貫校のシステムのすばらしさは非常に感じております。先生方の熱意が違うなど、すごく前向きなお言葉、励ましのお言葉もいただきましたし、小中一貫校について私は、非常に今まで知らなかっただけで、すごくいいシステムになるだろうと地域住民の方との熱意のいろいろ課題もあるのかなとも思うのですが、それ自体はすごく思いました。ただ、やっぱりスピードとか、子どもたちのことというのであれば、まずスタートはそこだったのではないのでしょうかということをおの意見として述べさせていただきます。情報は逐一だしていただきたいと思います。4月17日の伊保内小学校保護者対象の説明会の時の質問を読み上げさせていただきます。後の整備委員会には専門知識を持った人を多く入れてほしい。地域の代表の人がやると地域のことを考え、子どものことが置き去りになってしまうかもしれない、保護者の方や専門の方がやるべきではないかという質問がありまして、教育委員会の考え方として、意見を反映させたいと思う。また整備委員会では具体的な意見をお願いしたい。整備委員会は住民の意見を聞くように、ワークショップも検討したいということですので、しっかりとワークショップ等も計画していただいて、ホームページとか色々な媒体を使って広く周知していただきたいと思います。ぜひワークショップを開いていただきたい、よろしく申し上げます。</p>	
<p>住民意見 小中一貫校という事で、土淵小学校を拝見させていただいたのですが、その時に土淵小学校の小中一貫をつくりあげるにあたって、地域に出向いてかなりの検討をした。地域との対話は絶対大事だということをお言われました。私は、ここは絶対大事だと思います。九戸村は地域に出向いての説明が全くといっていいほど対話がなされなかったのではないかと</p>	<p>教育長 この案を策定するまでには検討委員会ということで、住民のそれぞれの代表の方々から出ていただきまして貴重なご意見をいただき、そして、10回の検討委員会を重ねて子どもたちのための基本計画を策定した、策定したものであります。更には途中の中で情報発信ということで、全戸配布のそれぞれの検討委員会便りを出しましたし、広報等でも発</p>



<p>と思います。全戸対象にこの説明がちゃんとなされたかどうかアンケートをとっていただきたいです。それでそれを踏まえたうえで、それでちゃんと説明も理解できたし、議論もちゃんとなされたというのでしたら、それはそれで認めることになると思いますけれども、そこまでやるべきだと私は思います。いかがでしょうか。</p>	<p>信したつもりであります。住民説明会、保護者の意見交換会、関係団体者との意見交換会等も進め、そして、住民の方から大きな要望がありました、今の3点について私たちの方で組織を通して誠実に対応し、今回計画を出したものと考えております。今後についても、整備委員会等では教育委員会を立ち上げてワークショップ等を取り入れながら良い学校づくりを進めていきたいと考えております。</p>
<p>住民 整備委員会ではもう九戸中学校のその敷地に建てると決まった段階からはじめるわけですよ。</p> <p>住民意見 それほどちゃんと説明責任も果たされた、議論もなされたという自信がおありならアンケートをとっていただきたいです。</p>	<p>教育長 総合教育会議等でも村当局と確認をし、議会にも報告してその方向性で進めていくことで確認しておりますので、本日報告したかたちで進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>教育長 アンケートについては再編に必要なアンケートを検討委員会のところでアンケートをとっておりますし、アンケートをとることについては考えておりません。</p>
<p>住民 アンケートといいますが、アンケートの中身に小中一貫校という設問はございませんでしたけれども、その辺はどう説明しますか。</p> <p>住民 そうではなくて、アンケートを取られたと言いますが、小中一貫校という設問がアンケートの中になかったのですが、それではアンケートをとったと言えないのではないですか。</p> <p>住民</p>	<p>教育長 小中一貫校の中身についてアンケートにはなかったとお話しますが、諮問内容のところで、小中連携について今後どうするかということで検討委員会のほうからご意見をいただきました。そして、視察の中でもご覧いただいたように本村にとっても小中一貫校はいいというふうなことと、もう一つは小中連携教育を導入する際に、小学校再編1校の場合本村では5つの課題があげられるであろうと、その5つの課題を解決する為には小中一貫制度を取り入れた場合、いい方向に進むだろうということで小中学校を統合するというかたちにしたものであります。</p> <p>教育長 先程お話したように、小中一貫校の教育についてアンケートをとるということではなくて、小中それぞれ再編したうえで、小学校1校中学校1校となります。小中の連携を深める為の5つの課題があります。その5つの課題もお示ししました。この5つの課題を解消するために、小中一貫制度を取り入れることによって、本村の子どもたちにとって、より良い方向にいくだろうという考え方で、小中一貫制度を導入したということになります。</p> <p>教育長</p>

<p>アンケートの中には小中一貫校という設問がなかったことですので、アンケートをとったということにはならないのではないですか。</p>	<p>5つの課題については先程お話したように中一ギャップ、小学校と中学校の関係の部分それから、特別支援教育の充実の部分、そして小中連携で進めております授業の部分、小学校と中学校の先生が一体となって9年間で子どもたちを育てていきましよう、そして新しい学習指導要領で取り入れられていく外国語活動について、小学校からの専門的な知識等も取り入れていくことで、乗り入れ授業。これは外国語活動に関わらず、それぞれの学校の時々の状況に応じての乗り入れ授業というふうなことでいいかたちになるだろうということで、小中一貫制度を導入するという方向で計画をしたものであります。</p>
<p>住民 学校づくりというのは、街とかそういうものには全然関係がないことでしょうか。街づくりも学校づくりも大事だとは村長はお考えになりませんか。</p> <p>住民 九戸村の将来を考えた時に、場所によっては、学校の配置場所によっては廃れていくというお考えにはなりません。子どもの教育を優先に考えることによって、その街づくりは置き去りにされることはお考えにはなりません。</p>	<p>村長 おっしゃるように大事だと思っております。子どもたちの環境をまず整えたいということでスタートしております。</p> <p>村長 私は九戸村の村づくりをしたいと思っております。おっしゃるような街づくりというのはこれから何回も議会でもお出ししましたが、廃校になる学校等々の利用を考えながら、進めていくことだろうかと思っております。街づくりのために子どもの環境整備を待たせることがあってはならないと思っております。</p>
<p>住民 現在は小学校5つありますけれども、ほとんど街中に、それぞれの部落の中心にあって、朝行くと声をかけられながら、子どもたちはそういったものも含めて学習しているわけなのですね。これが配置場所と言いますけれども、現在の九戸中学校、ここは中学生であればまだあれかもしれないけれども、小学生は少なくなってしまうと思うのです。スクールバスで隔離されたような状態でそこに行って授業してそこから帰る。周りの色々な大人の中で育つというそういう経験がない子どもたちがでてくる、そこをすごく危惧します。本当に子どもたちが育っていく中でどういった環境がいいのかということ、やはりそこをもう一度検討していただけないか、もう少し時間をとっていただけないかという事をお願いしたいと思えます。</p>	
<p>住民 九戸村は5つの小学校があって先生方が48人いて、子どもたちに教育やっただいています。これを失うというのは私は子どもたちの教育の条件として大きい損失になる心配があるので、やっぱりいろんな角度から十分時間をかけて検討をしてほしいというのが最後の1点です。もう一つ教育長さんが、統合の34年の前に2年ぐらい学習交流を予定しているのだというふうに言っていましたけれども、私も詳しくはわからないのですが、全国で統合しないで頑張ろうという学校もいっぱいあって、小規模校で、子どもたちに密接に教育できるということいろんな知恵を使って学校を少なくしないことによって、充実をさせるという知恵がいっぱい全国にはあるので、そういう角度も含めて総合的にじっくり時間をか</p>	

けて本当に子どもたちの教育がどうあればいいのかというのはもっともっと時間をかけて、検討するという事を強く要望したいと思います。

住民

先程村長が子どもの学習教育を街づくりのために犠牲にあってはならないとおっしゃられましたけれども、そういう志を持って計画を立てるのは教育長のお仕事だと私は思っています。教育のプロであり、子どもの教育を最優先に考える立場だからです。けれども村長は両方街づくり、町の未来、将来どちらも捨てずに子どもの未来も一緒に考えなければいけないと思います。どうか村街づくり、村全体をと思うのであれば、伊保内の発展なくして村全体の発展があると思いますか。もし、九戸中学校の敷地に小学校が建ったとして、その周辺に今後新しい民家が建ち、商店が建ち、銀行や病院が来ると思いませんか。そういった面も含めての小学校建設であってほしいと思います。でなければ、20年後に3千人台になってしまうこの小さな村でどうやって住み良く暮らしていくのか、そこまで考えて結論を出していただきたいと思うので、どうか皆さん今日ここにいらっしゃっている人たちの願いを聞き届けてもっと時間をかけて議論をしていただきたいと思います。ありがとうございます。